2019年度chemSHERPA普及度調査結果

2020年1月10日

アーティクルマネジメント推進協議会（JAMP）
普及委員会
ツール委員会

2019年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

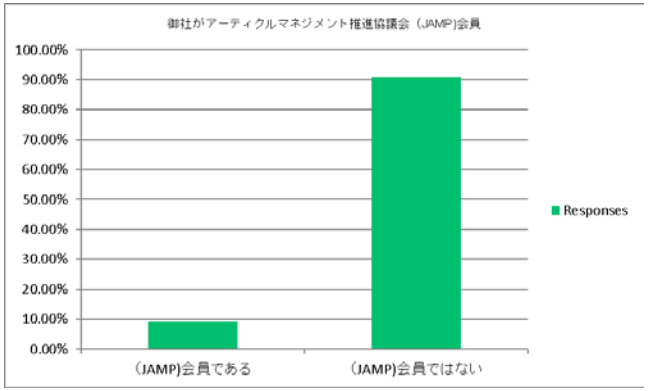
調査対象企業の状況

アンケート実施期間：2019年10月7日～10月18日　アンケート送付数：58,497、**回答者数：3,058人、**
うちJAMP会員431人

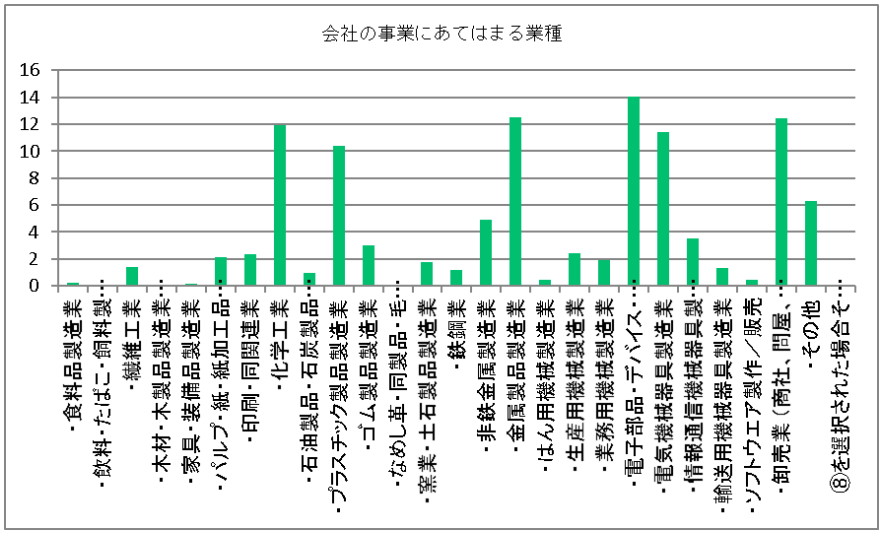
chemSHERPA-AI/CIダウンロード者（2018.4-2019.9）
ｱｰﾃｨｸﾙﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ基礎講座受講者（2019年度）
JAMP会員、JAMP委員

調査目的：chemSHERPAの普及度の定点観測、傾向分析
普及を阻害する要因や普及に向けての意見収集

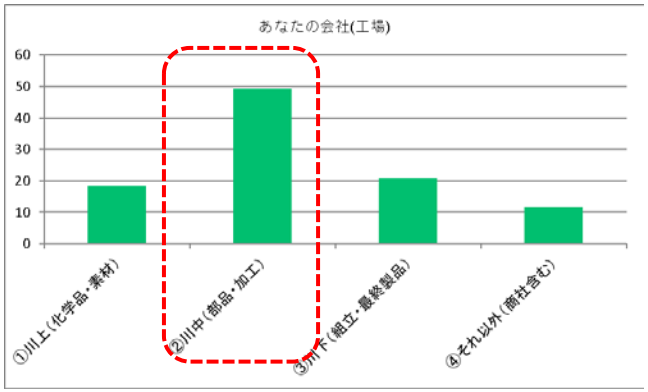
JAMP会員／非会員



企業の業種分類



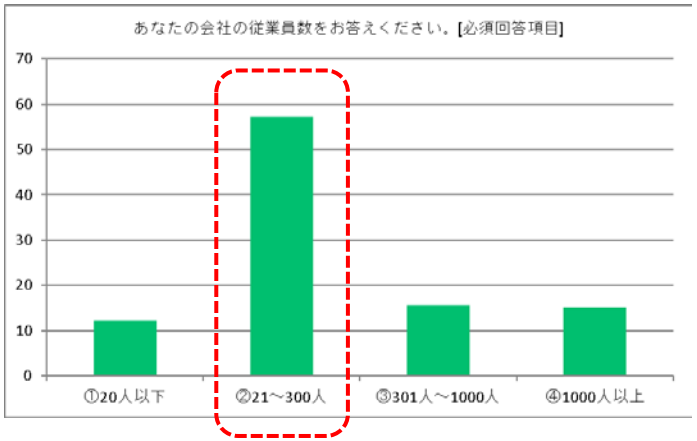
サプライチェーンの川上／川中／川下／その他



2019年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

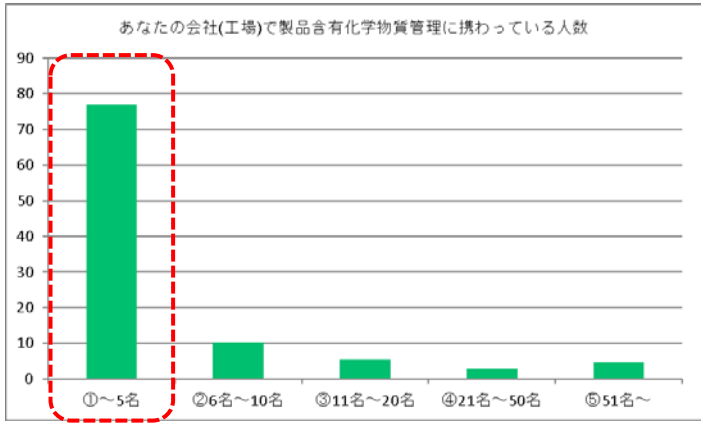
調査対象企業の状況

企業の従業員数（~20、~300、~1000、以上）



chemSHERPA利用者は20~300人の中小企業が多い。

業務への従事者（~5、~10、~20、~50、以上）

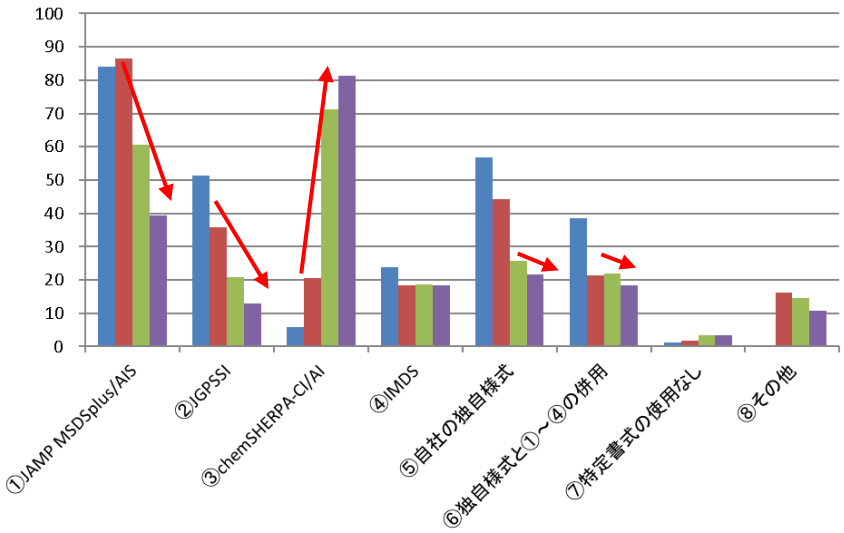


含有化学物質管理の従事者は５名以内

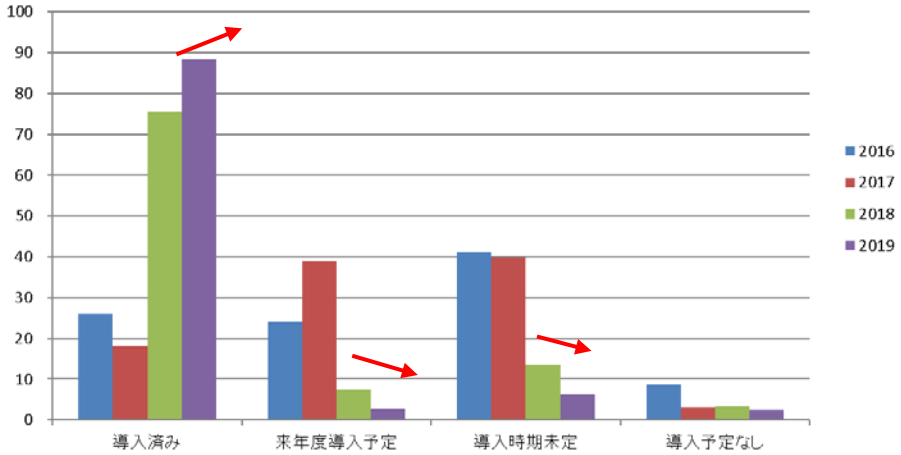
2019年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

様式の利用状況（2016~経年変化）

利用している様式は何ですか（複数回答可）



chemSHERPAの導入予定はいつ頃ですか

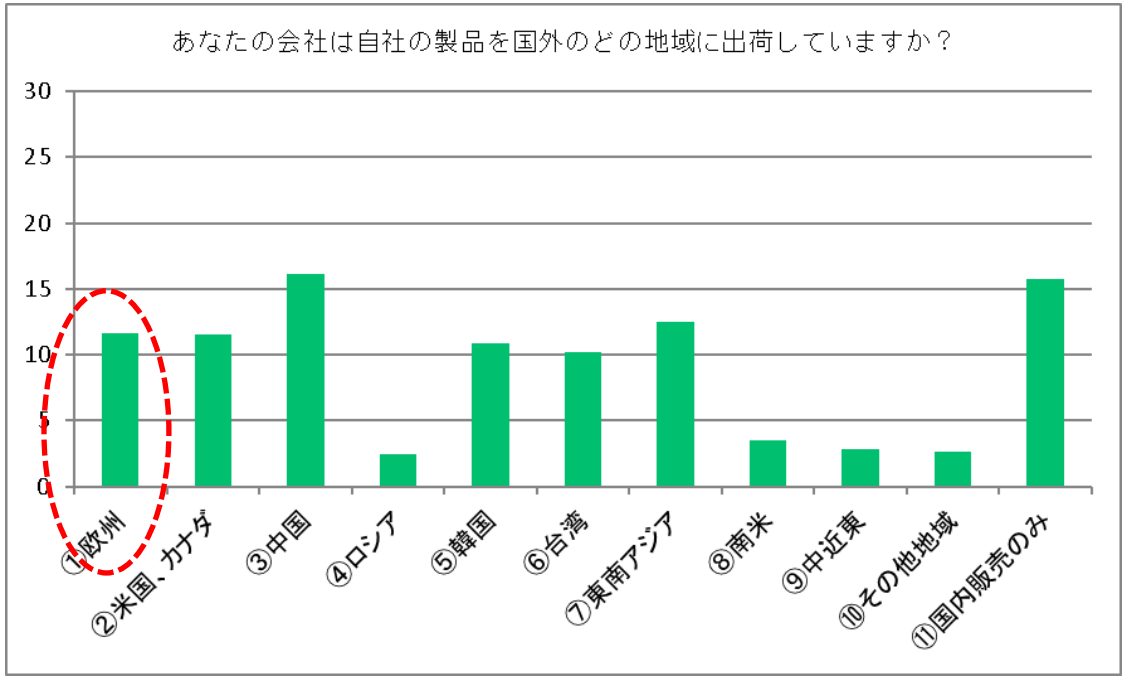


chemSHERPA導入過程終了→ほぼ導入済み

AIS、JGPは減少、chemSHERPA増加傾向継続
独自様式、併用は減少するも停滞
独自様式単独と、chemSHERPA併用で
chemSHERPA利用者の30~50%ぐらい存在

2019年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

製品の出荷国、地域

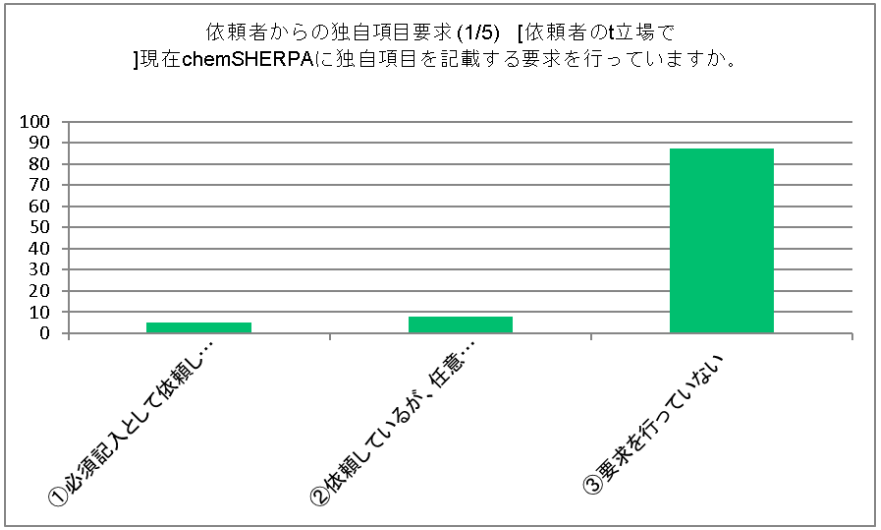


①欧州	1008
②米国、カナダ	1001
③中国	1405
④ロシア	209
⑤韓国	943
⑥台湾	890
⑦東南アジア	1086
⑧南米	300
⑨中近東	249
⑩その他地域	230
⑪国内販売のみ	1370
	8691

この調査の目的は、ECHA　SCIPデータベース登録のニーズ調査。
欧州出荷の企業は、3,000社中、1,000社程度あり。（複数回答可）
組合せ分析は必要であるが、中小企業でも欧州出荷企業はある程度存在する。

2019年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

1）chemSHERPAでの独自項目の要求について

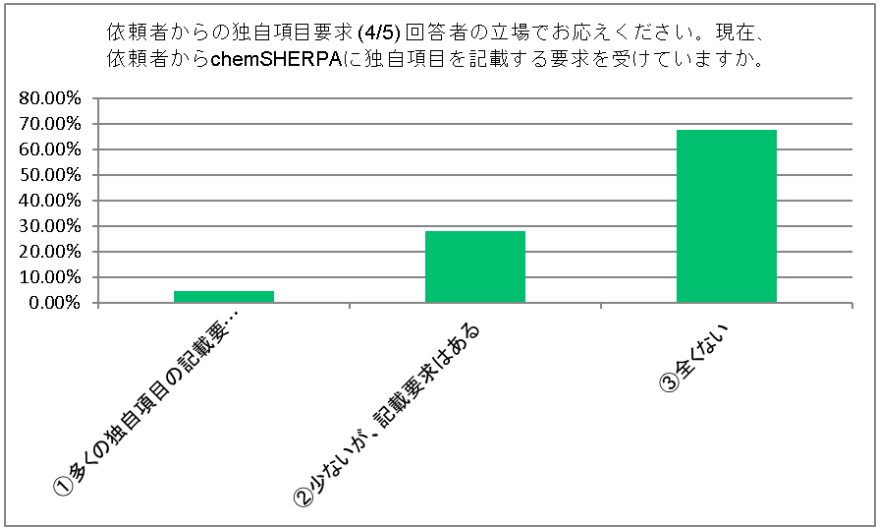


【依頼者へ伺います】
chemSHERPAへの自社の独自項目の要求がありますか

①必須記入として依頼している	121
②依頼しているが、任意要求である	179
③要求を行っていない	2028

13%程度と割合は少ないが一定数の要求あり。

一部の依頼がサプライチェーンに影響



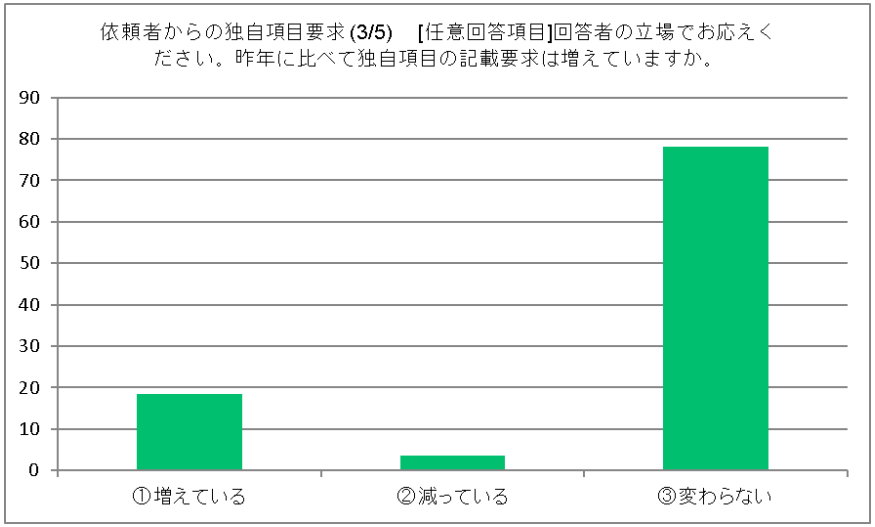
【回答者にうかがいます】
chemSHERPAでの依頼者の独自項目記載の要求はありますか

①多くの独自項目の記載要求がある（10社以上）	124
②少ないが、記載要求はある	702
③全くない	1402
	2228

回答者としては、30%程度も要求を受けている。
独自項目要求は多いと見るべき。

2019年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

1）chemSHERPAでの独自項目の要求について



【回答者へ伺います】
昨年に比べて独自項目記載の要求は増えていますか

chemSHERPAが増えている背景もあるが、
独自要求は増えているとの回答。

	主な意見集約　（回答数　194）	回答数
1	**顧客要求を川上に要求するため、廃止できない**	**36**
2	**自社型番などを川上に記載要求（廃止予定無しだが検討可能）**	**20**
3	**任意報告を義務化し、全成分調査を実施（廃止予定無し）**	**16**
4	PVC、赤リンなどの個別要求がある	9
5	閾値以下でも記載を要求	4
外	今までは独自要求を抑制するルールが無かったので今回のルール化を歓迎	4

【依頼者へ伺います】
独自項目要求の具体的な内容
と廃止予定についてお聞かせください

顧客要求はやむを得ないが、自社型番などは改善の余地あり。
全成分調査をどうするか検討が必要。

2019年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

1）chemSHERPAでの独自項目の要求について

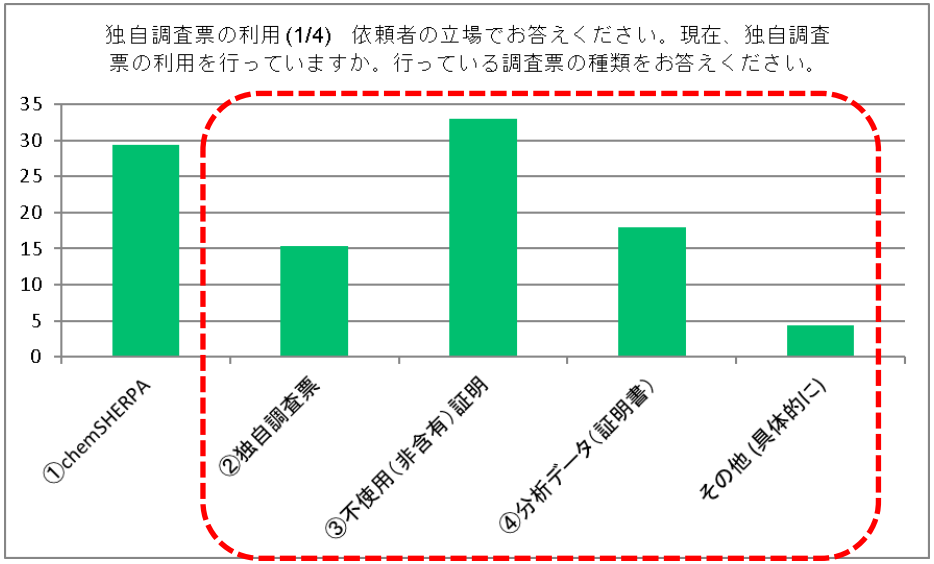
	主な意見集約　（回答数　434）	回答数
1	**ルールの厳密化を求める**	**53**
2	止むを得なく実施している、容認すべき、独自調査票が増えるだけ、あきらめ	42
3	**JAMPから川下企業への指導を行ってほしい**	**35**
4	**教育やホームページなどで理解度の向上や周知徹底が必要**	**31**
5	ツールに禁止事項を記載するなどしてはどうか	15
6	共通項目として様式を変更してはどうか	14
外	**全成分、全物質表現ができれば個別の物質要求が減るはず**	**9**
外	情報開示用のシステムから依頼者がダウンロードするような仕組みが効果的	8
外	**依頼データの活用を徹底する**	**5**
外	**今回のルール化に歓迎。依頼者に提示していく**	**4**
外	独自要求の場合はコスト負担を要求すれば良い	3

【自由意見欄】
独自項目要求に対する意見、無くすためのアイデアなどがあればお聞かせください

今回のルール追加に一定の評価をしつつ、さらなるルールの厳密化を求める声も多い。一部川下企業への不満やそれを指導する必要性なども言及される。
今回のルール追加を周知徹底する、依頼データの活用の仕方など、川下企業への理解度の向上を図ることも必要。
全成分調査ルール化の是非も要検討。
定点観測すべきテーマとしてフォローしていく。

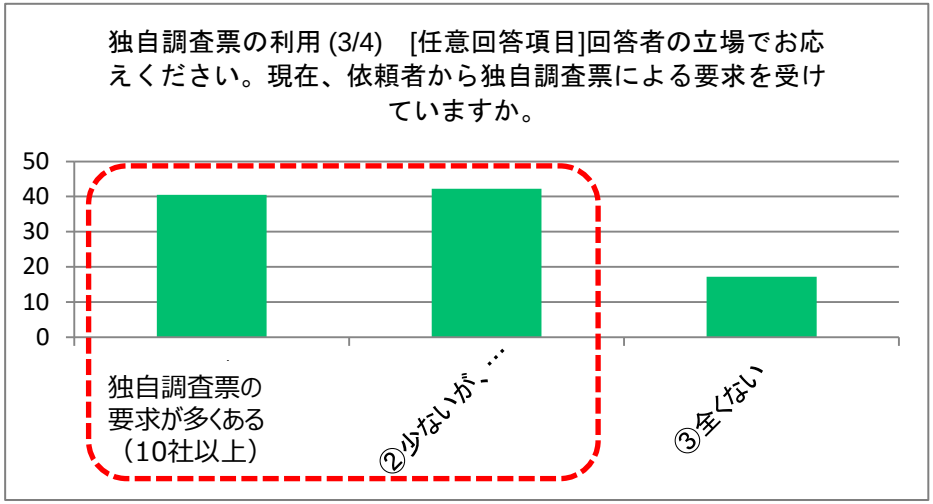
2019年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

2）独自調査票の要求について



【依頼者にお伺いします】
独自調査票の利用を行っていますか
その様式はどんなものですか

chemSHERPAに加えて、独自調査票や不使用証明の利用割合は多い。
（最も多いのは不使用証明書）



【回答者にお伺いします】
独自調査票の要求を受けていますか

独自調査票の割合は多く80%
全くない、は、20%以下

2019年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

2）独自調査票の要求について

	主な意見集約　（回答数　867）			回答数
1	廃止予定あり	無条件廃止	2	61
		川下からの要求が無ければ	45	
		徐々に廃止	10	
		他のツールへ置換	4	
2	**廃止予定無し**	個社の事由による	87	**810**
		川上からの事由により	101	
		川下からの事由により	**342**	
		海外メーカー等で対応が難しい	20	
		エビデンスとして必要だから	49	
		chemSHERPAでは顧客要求を満足できない	**83**	
		その他	128	
3	現時点では廃止不明	商社の為管理外（商流に乗せるだけ）	24	76
		その他	52	

【依頼者にお伺います】
独自調査票の利用 、その必要性と、今後廃止予定があるかをお教えください

独自調査票の廃止予定は無い、が圧倒的。川下からの要求があるため、が一番多い。

2019年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

２）独自調査票の要求について

【自由記入欄へのコメント抜粋・・・独自要求を廃止できない理由】

RoHS調査には独自保証書を利用
保証書にフタル酸のコンタミ等も含めた書式形態をとっているため
サプライチェーンの調査用の根拠を100%入手するため
chemSHERPAを利用して回答するより独自書式で回答作成したほうが時間や人的コストが掛からない
大量の調査処理に時間がかかりすぎる
chemSEHRPA書式に自由度がない限り独自書式を廃止できない
エコラベル取得製品/包装材や電池に関する法令に対応のため
保証書をchemSHERPAへ代替してもらえない(認めてもらえない)
chemSHERPA作成には専門知識や経験が必要で対応できない
組成情報を入手しておく必要があるため
川上企業がchemSHERPA対応できない。
SVHCの物質リリース後chemSHERPAの更新までの時間が長い。

chemSHERPAへの対応負荷や難しさ、自由度の無さを指摘する声がある。
物質リストの更新時期が遅いなど、chemSHERPA自体の改善の余地はありそう。

2019年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

２）独自調査票の要求について

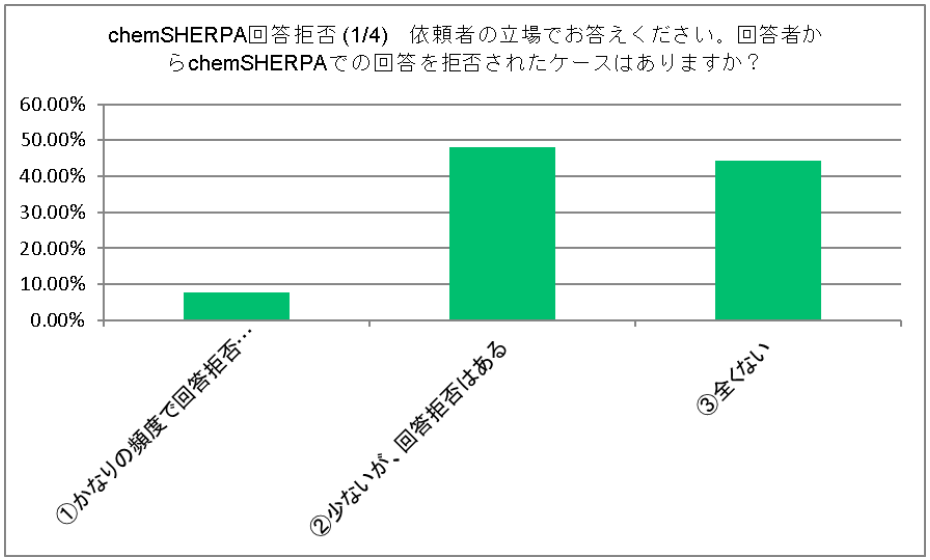
	主な意見集約　（回答数　674）	回答数
1	**chemSHERPAの統一・浸透・普及（国内外）が進むこと**	**164**
2	**独自調査票はなくならない（必要）または、あっても良い**	**113**
3	特にアイデアは無い	87
4	**chemSHERPAのツールの強化を望む（物質追加、不使用証明出力など）**	**82**
5	大手川下企業（JAMP会員を含む）の指導が必要	63
6	法規制や国の指導、ルール厳密化、通報、罰則化を実施	51
6	負担がかかるため止めて欲しい、または提出しないよう抵抗している	51
7	chemSHERPAが複雑、難しいためやむを得えず独自調査票を発行	18
外	IMDSのような共通データベースへの登録を行うことで排除できる	7
外	全物質表記を可能とすれば独自の物質要求が減る	3
外	独自調査票に対しては有償化をルールとする	2

【自由意見欄】
独自調査票に対する意見、無くすためのアイデアなどがあればお聞かせください

海外含めたchemSHERPAの普及度が上がることが独自調査票を無くすことにつながるとの回答が多い一方、独自調査票は必要と答える割合も多い。不使用証明に関しては、chemSHERPAから出力できれば良いとのアイデアもある。大手川下企業への個別指導を求める声も多い。

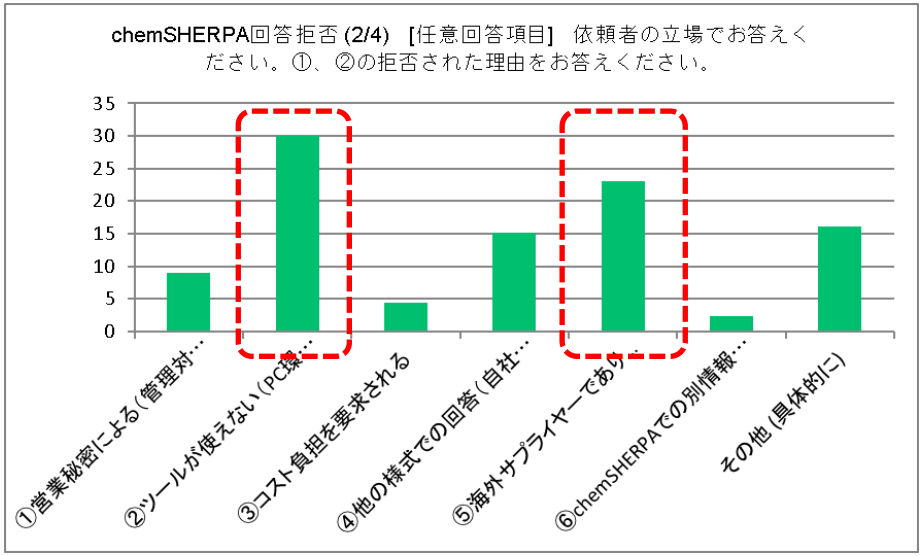
2019年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

3）回答者からの回答拒否について



【依頼者にお伺いします】
回答者からchemSHERPAの回答拒否された経験はありますか

半数程度で回答拒否された経験がある



【依頼者にお伺いします】
chemSHERPA回答拒否の理由は何ですか

ツールが使えない、海外サプライヤから入手できない、の理由が多い

2019年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

３）回答者からの回答拒否について

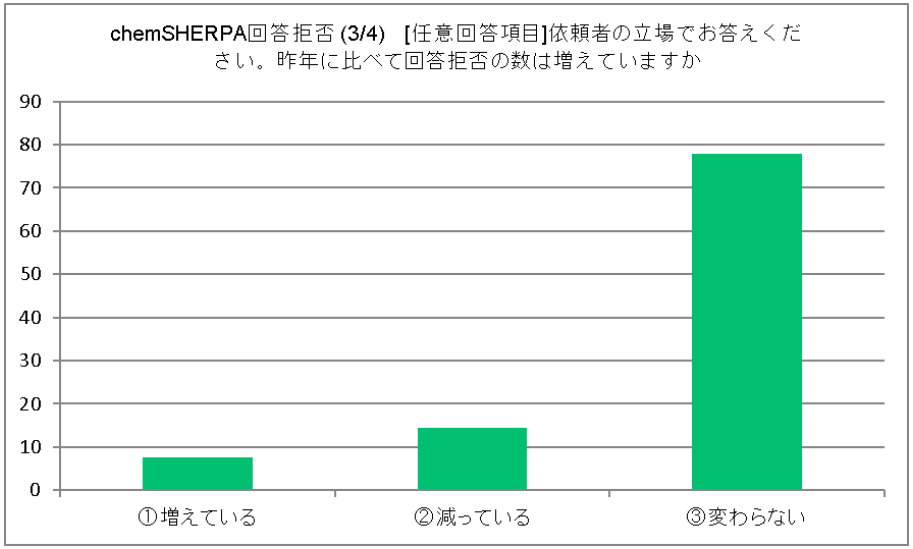
【依頼者にお伺いします】
拒否された理由（その他）を
具体的にお伺いします。

	主な意見集約　（回答数　217）	回答数
1	**複数該当）海外サプライヤーでありchemSHERPAを扱わない**	**67**
2	**複数該当）ツールが使えない（PC環境なし、難しいなど）**	**65**
3	複数該当）他の様式での回答（自社様式、EXCELなど）	52
4	複数該当）複数該当）コスト負担を要求される	42
5	複数該当）営業秘密による（管理対象物質を含む）	40
6	複数該当）chemSHERPAでの別情報での回答（AI要求に対してCI、成分要求に対して遵法など）	38
外	企業ポリシーによる	13
外	保証できないため回答不可	11
外	購入量が少ないため回答不可	6
外	川上から回答が得られないため	3

その他の回答については、複数項目への回答が多数。順位としては、先の選択の通り、海外サプライヤーからの拒否と、ツールが使えない（中小企業など）が多い。
海外サプライヤーへの調査方法や普及拡大の検討、中小企業への教育、普及活動が必要。

2019年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

３）回答者からの回答拒否について



【依頼者】回答拒否の増減

回答拒否の状況は変わらない状況。
若干減っているのは、chemSHERPAの普及が影響していると考えられる。

2019年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

３）回答者からの回答拒否について

	主な意見集約　（回答数　573）	回答数
1	**普及・啓発を促進させ、特に海外に対して普及すれば回答拒否は減る**	**115**
2	**ツールやマニュアルの使いやすさ改善、EXCELなど簡易入力手段の提供**	**89**
3	**教育やセミナーなど、chemSHERPAの無料セミナーの開催**	**46**
4	開示を法律で義務付ける	31
5	CBIの保護は当然。なくならない。	22
6	調査コストへの認識向上	11
外	chemSHERPAをグローバル共通のフォーマットにする	9
外	素材メーカーのWebデータベースへの公開。システム連携の推進	7
外	他業界様式、独自様式の更なるchemSHERPAへの一本化	6

【自由意見欄】
回答拒否に対する意見、無くすためのアイデアなどがあればお聞かせください

海外普及へのニーズが大きい。また、ツールの使いやすさやEXCELでの簡易調査など、ツールの難しさの限界を指摘する声も多い。
また、無料セミナーの要望も多く、JAMP非会員の中小企業への教育について議論が必要。

2019年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

ツールコンバート機能の廃止について

	主な意見集約　（回答数　448）	回答数
1	特に問題/懸念はない	204
2	過去様式でのデータ資産の取扱いに懸念があり	202
3	廃止に賛成。旧方式を許容する手段を残しておくべきではない	5
4	よくわからない	13
5	その他、コメント、ツールに対するご要望等	24

【自由意見欄】
JAMP AIS/MSDSplusおよびJGPSSIからchemSHERPAへのコンバート機能は2021年2月改定のツールから終了しますが、懸念事項があればご記入ください。

・懸念ありの回答では、JAMP AIS/JAMP MSDSplusおよびJGPSSIの旧様式データを取り扱えなくなる（参照できなくなる）事が困るとの意見が大多数であり、コンバート機能そのものではなく、旧様式のデータを参照できる手段の維持が望まれている。
・現状まだAIS等の過去様式での要求があることも数件ではあるが懸念理由として挙げられている。
・問題/懸念がないとの意見では、既に旧様式データからのコンバート対応が全て終了している、コンバート機能は使用せず新規にchemSHERPAデータを作成するからという理由が多い。また小数ではあるが、旧様式の取扱い手段を残していることが統一を阻害している要因として、コンバート機能廃止を求める意見もある。

2019年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

自由意見

	主な意見集約　（回答数　642）	回答数
1	入力支援ツールの要望（CI→AI変換ツール、EXCEL簡易入出力など）	198
2	知識が低い、教育を充実してほしい（無料セミナー、マニュアル充実など）	68
3	工数負荷やコスト負担に関する苦情	51
4	chemSHERPAの認知度向上（中小企業への周知、国の支援など）	49
5	物質リスト（年２回の更新は負荷、対象法規制を拡大してほしい、など）	40
6	独自調査票、分析データ、重複する不使用証明書など、負荷になっている	39
7	海外メーカーからのchemSHERPAが入手できない。国際普及が重要	30
8	回答拒否に困っている（特に海外メーカー、中小企業）	23
9	自動車業界との互換を望む（IMDS、JAMAシート、全成分）	21
10	独自要求の禁止は川下企業に強く依頼したい	17
11		

【自由意見欄】
chemSHERPAの普及に関する要望、情報伝達の問題などご意見をお願いします。

- **自由意見では、ツールへの要望が多い。特に、EXCELなどの簡易フォーマットへのニーズ大。**
- **相変わらず、教育のニーズは高く、しかも近年のJAMP会員重視に異論を唱える中小企業も存在。**
- **中小企業への認知度向上のため、教育の無料化、国の支援を求める声も多い。**
- **独自帳票や自動車業界互換などは、順位としては下がっている印象。**